

## 会 議 録

会議名	令和6年度第2回佐久市地域包括支援センター運営協議会
日 時	令和7年3月13日（木） 午後1時30分～2時30分
場 所	南棟 3階 会議室
出席委員	八尋道子 委員、岡田稔 委員、野村裕行 委員、磯貝修 委員、 青木美佐子 委員、江本年子 委員、柳沢喜美子 委員、 石川理恵子 委員、町田清 委員  (9名/14名)  (欠席) 岩松明美 委員、今牧健之 委員、小林光男 委員、 池田鐘三 委員、荻原明雄 委員
事務局	遠藤福祉部長 高齢者福祉課：渡辺課長、吉江課長補佐、小林係長、山岡係長、菊池、 柏木、相澤、静谷 臼田支所：小池 浅科支所：佐藤 望月支所：丸山 佐久平・浅間地域包括支援センター：坂本管理者 岩村田・東地域包括支援センター：神津管理者 中込地域包括支援センター：佐々木管理者、小野寺主任 CM 野沢地域包括支援センター：仁科管理者 臼田地域包括支援センター：由井管理者 浅科・望月地域包括支援センター：高橋管理者
傍聴人	なし
次 第	1 開会 2 議事 (1) 協議事項 地域包括支援センターの周知活動について  【事務局 資料No.1 説明】  由井管理者 包括の周知として5月に保健補導員ブロック研修会に伺った。保健補導員が携わっている肺がん健診の会場に同行し、包括の啓発を行った。健診受診者に包括の周知ができた。来年度も健康づくり推進課と相談し、健診の同行をしていきたい。

青木委員

臼田地区では民生児童委員と包括と保健師との三者会後に包括から事例の報告を受ける。全体発表してもらうことで、全体の民生児童委員が学ぶことができる。幅広い視点で事例報告してもらえるのでいい効果だと思っている。

石川委員

毎月の会合において、医療介護の関係者と地域の皆様と活動状況を報告しあう場を設けるのはどうか。

病院、薬局、健診での待ち時間等をセンターの活動周知にあてたらどうか。

江本委員

いきいきサロンと合同で保健補導員の地区自主活動をしている。

柳沢委員

包括の職員が疲弊しているという話を聞く。何でもかんでも包括だと職員が続かなくなる。きちんと仕事を整理していくことが大切ではないか。

## (2) 報告事項

### 地域包括支援センター評価事業

#### 【事務局 資料No.2 説明】

石川委員

各包括で独自に活動されていることが分かった。

私共の連絡協議会でも活動内容について共有させていただきたい。資料は共有させていただいてもよいか。

事務局

ホームページにも掲載しているので活用して頂ければと思う。

柳沢委員

評価があると次に進むステップになる。評価は誰が行っているのか。

事務局

介護保険法に基づいて国が示した基準があるので、それに沿って評価をしている。高齢者福祉課職員が評価をしている。複数の目をもって評価させていただいている。

(3) 協議事項

居宅介護支援事業所における介護予防支援事業の  
事業所指定について

【事務局 資料No.3 説明】

→ (意見等なし)

(4) その他

3 事務連絡

次回運営協議会の日程についてお知らせします。5/26(月)13:30～  
南棟3階会議室で行います。

町田委員

仕事柄、包括に協力を仰ぐことが色々ある。一言でいうとセーフティ  
ーネットだと思う。様々な場面で関わるわけだが、担う人が担うべき  
時に担ってこそ機能する。保護を必要とする人はいる。災害の時にど  
うするかというのは課題。それを一覧化し、どう対処するか対応して  
いると思うが、行政任せではできない。個々の実働の人がいるわけだ  
と知っている。

岡田会長

包括が一番地域に出向いている関係もあり、地区によってはマップが  
できている所もある。共有できると良い。

遠藤部長

佐久市においても災害時においては個別避難計画を昨年度から作り始  
めている。民生児童委員に毎年高齢者実態等調査で各家庭訪問しても  
らっている。それぞれの皆さんから同意を得た方について個別避難計  
画を作成している。それは関係者に情報を提示することになる。同意

を得た方を中心に個別避難計画を作っている。3月までの中で240区の中から手を挙げて頂いて同意を得た方のものを作っている。高齢者が多いので、地域包括支援センターの方中心に見て頂いている。

八尋委員

本日のことをまた大学の方に還元していきたい。地域の人々の幸せに結び付けられたら良い。大学で行っている研究のテーマにしていくのも一つかなと思った。

4 閉会